

2023年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月14日

上場会社名	株式会社 プラス	上場取引所	東 名
コード番号	2424	URL	https://www.brass.ne.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	河合 達明
問合せ先責任者	(役職名) 専務取締役	(氏名)	河合 智行
TEL	052-446-5338		
定時株主総会開催予定日	2023年10月25日	配当支払開始予定日	2023年10月26日
有価証券報告書提出予定日	2023年10月26日		
決算補足説明資料作成の有無	有		
決算説明会開催の有無	無		

（百万円未満切捨て）

1. 2023年7月期の連結業績（2022年8月1日～2023年7月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年7月期	13,260	—	1,173	—	1,201	—	722	—
2022年7月期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2023年7月期 721百万円（－％） 2022年7月期 ー百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2023年7月期	132.87	—	19.9	10.8	8.8
2022年7月期	—	—	—	—	—

（参考）持分法投資損益 2023年7月期 ー百万円 2022年7月期 ー百万円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2023年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期の数値及び対前年同期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2023年7月期	11,140	3,628	32.6	667.66
2022年7月期	—	—	—	—

（参考）自己資本 2023年7月期 3,628百万円 2022年7月期 ー百万円

（注）2023年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期の数値については記載しておりません。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	1,328	△409	△1,179	2,306
2022年7月期	—	—	—	—

（注）2023年7月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2022年7月期	—	0.00	—	4.00	4.00	21	—	—
2023年7月期	—	0.00	—	6.00	6.00	32	4.5	1.2
2024年7月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00		8.6	

（注）2023年7月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期の配当性向（連結）及び純資産配当率（連結）については記載しておりません。また、2023年7月期の純資産配当率（連結）は、連結初年度のため、期末1株当たり連結純資産に基づいて計算しております。

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,299	△5.8	334	△62.9	355	△61.2	223	△65.0	41.17
通期	13,263	0.0	764	△34.9	806	△32.9	507	△29.7	93.46

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年7月期	5,709,300株	2022年7月期	5,709,300株
2023年7月期	274,639株	2022年7月期	274,639株
2023年7月期	5,434,661株	2022年7月期	5,606,365株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年7月期の個別業績（2022年8月1日～2023年7月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期	13,190	15.5	1,266	44.8	1,231	9.1	766	4.4
2022年7月期	11,415	22.2	874	166.8	1,129	121.6	734	333.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期	141.11	—
2022年7月期	131.06	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期	11,127	3,728	33.5	686.14
2022年7月期	11,764	2,983	25.4	549.04

（参考）自己資本 2023年7月期 3,728百万円 2022年7月期 2,983百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(連結貸借対照表関係)	10
(連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、2023年5月以降は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、個人消費に持ち直しの兆しがみられる状況となりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の進行、ウクライナ情勢の不透明さなど、依然として不確実な要因が存在しています。

当ウエディング業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かう一方、エネルギー価格や原材料価格の高騰及び人件費の上昇など厳しい経済環境が続いています。

このような環境の中、当社は経営理念「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」に基づき、1組1組のお客様と真摯に向き合い、丁寧に結婚式を創り続けてまいりました。挙式披露宴実施数の回復、ゲスト数の増加に伴い平均施行単価も向上しており、堅調な回復傾向が続いております。

今後も当社グループといたしましては、「いい結婚式を世の中に広めたい」変わることない当社の企業姿勢で事業を展開し、成長を続ける所存でございます。

当第4四半期会計期間における当社グループは、挙式・披露宴が予定通り実施され、通期の売上高、営業利益及び経常利益は2年連続で過去最高業績を更新するに至りました。

その結果、当連結会計年度における売上高は13,260,522千円、営業利益1,173,482千円、経常利益1,201,285千円、減損損失407,434千円を計上したことなどにより親会社株主に帰属する当期純利益722,125千円となりました。

なお、当連結会計年度は連結初年度に当たるため、前連結会計年度との比較は行っておりません。当社グループの売上高の99%以上が当社単体の売上高により構成されており、当社単体に関する説明を記載しています。また、当社グループはウエディング事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしておりません。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の資産合計は11,140,429千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が2,347,044千円、建物が5,001,186千円、土地が1,026,206千円であります。

（負債）

当連結会計年度末の負債合計7,511,919千円となりました。その主な内訳は、長期借入金が2,067,261千円、1年内返済予定の長期借入金が2,032,770千円、契約負債が892,850千円、未払金が573,664千円であります。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産合計は3,628,510千円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が2,746,640千円、資本剰余金が1,009,817千円、資本金が100,000千円であります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,306,770千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は1,328,116千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益を789,061千円、減価償却費を759,371千円及び減損損失を407,434千円計上した一方、法人税等の支払額を470,571千円及び契約負債の減少額を133,517千円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は409,440千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出347,479千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は1,179,336千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入400,000千円により資金が増加した一方、社債の償還による支出96,000千円及び長期借入金の返済による支出1,461,485千円等により資金が減少したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年7月期
自己資本比率 (%)	32.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	46.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	61.7

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー / 利払い

(注) 1. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

2. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、2023年5月には5類感染症への分類移行もあって、個人消費が着実に回復しています。

このような状況の下、当社の2024年7月期の連結業績予想は、売上高13,263,088千円（前期比0.0%増）、営業利益764,198千円（前期比34.9%減）、経常利益806,198千円（前期比32.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益507,904千円（前期比29.7%減）を見込んでおり、増収減益の見通しとなっております。

減益の要因としまして、今後の新規出店を見据えた出店コスト、人材採用とその教育費用を見込んでおります。これらの費用は、一時的に業績に圧力をかける要因となりますが、中長期的には市場シェアの拡大を支え、将来の収益性向上につながる重要な投資と考えています。

また、2024年1月に自社衣裳店出店に関連する費用を見込んでおり、婚礼ドレスの内製化比率を引き上げ、高品質な衣裳の提供と、単価向上への貢献が期待できます。

当業界が回復の兆しを示す中、当社は将来を見越して事業拡大を進め、競争力を強化し、持続可能な成長を実現してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向等を踏まえ、検討を進め対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2023年7月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,347,044
売掛金	56,499
商品	78,230
仕掛品	11,773
貯蔵品	66,909
その他	222,814
貸倒引当金	△4,053
流動資産合計	2,779,217
固定資産	
有形固定資産	
建物	11,369,058
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,367,872
建物(純額)	5,001,186
構築物	1,043,889
減価償却累計額及び減損損失累計額	△706,573
構築物(純額)	337,316
機械及び装置	24,548
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,551
機械及び装置(純額)	21,997
車両運搬具	32,730
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,333
車両運搬具(純額)	3,396
工具、器具及び備品	1,759,601
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,550,847
工具、器具及び備品(純額)	208,753
土地	1,026,206
建設仮勘定	70,443
有形固定資産合計	6,669,299
無形固定資産	
ソフトウェア	91,503
その他	5,160
無形固定資産合計	96,664
投資その他の資産	
差入保証金	544,739
長期前払費用	98,431
繰延税金資産	950,213
その他	1,864
投資その他の資産合計	1,595,249
固定資産合計	8,361,212
資産合計	11,140,429

（単位：千円）

当連結会計年度 (2023年7月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	287,346
1年内償還予定の社債	108,000
1年内返済予定の長期借入金	2,032,770
未払金	573,664
未払費用	111,464
未払法人税等	231,933
未払消費税等	167,580
契約負債	892,850
その他	49,974
流動負債合計	4,455,585
固定負債	
長期借入金	2,067,261
長期未払金	310,215
退職給付に係る負債	153,709
資産除去債務	410,147
その他	115,000
固定負債合計	3,056,334
負債合計	7,511,919
純資産の部	
株主資本	
資本金	100,000
資本剰余金	1,009,817
利益剰余金	2,746,640
自己株式	△229,676
株主資本合計	3,626,781
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	1,729
その他の包括利益累計額合計	1,729
純資産合計	3,628,510
負債純資産合計	11,140,429

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
売上高	13,260,522
売上原価	4,332,611
売上総利益	8,927,910
販売費及び一般管理費	7,754,428
営業利益	1,173,482
営業外収益	
受取利息	28
受取賃貸料	42,886
その他	8,634
営業外収益合計	51,549
営業外費用	
支払利息	21,505
その他	2,240
営業外費用合計	23,745
経常利益	1,201,285
特別利益	
固定資産売却益	318
負ののれん発生益	1,619
特別利益合計	1,938
特別損失	
固定資産売却損	2
固定資産除却損	6,726
減損損失	407,434
特別損失合計	414,162
税金等調整前当期純利益	789,061
法人税、住民税及び事業税	416,581
法人税等調整額	△349,646
法人税等合計	66,935
当期純利益	722,125
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	722,125

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
当期純利益	722,125
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△862
その他の包括利益合計	△862
包括利益	721,263
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	721,263
非支配株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,009,817	2,103,682	△229,676	2,983,823
当期変動額					
連結範囲の変動			△57,429		△57,429
剰余金の配当			△21,738		△21,738
親会社株主に帰属する当期純利益			722,125		722,125
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	642,958	－	642,958
当期末残高	100,000	1,009,817	2,746,640	△229,676	3,626,781

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	－	－	2,983,823
当期変動額			
連結範囲の変動			△57,429
剰余金の配当			△21,738
親会社株主に帰属する当期純利益			722,125
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,729	1,729	1,729
当期変動額合計	1,729	1,729	644,687
当期末残高	1,729	1,729	3,628,510

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	789,061
減価償却費	759,371
減損損失	407,434
負ののれん発生益	△1,619
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,418
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△183
受取利息及び受取配当金	△29
支払利息及び社債利息	21,505
固定資産除却損	6,726
固定資産売却損益 (△は益)	△315
売上債権の増減額 (△は増加)	23,276
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△25,389
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,890
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,835
契約負債の増減額 (△は減少)	△133,517
その他	△17,536
小計	1,820,148
利息及び配当金の受取額	29
利息の支払額	△21,489
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△470,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,328,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△40,273
定期預金の払戻による収入	40,273
有形固定資産の取得による支出	△347,479
有形固定資産の売却による収入	318
無形固定資産の取得による支出	△59,481
差入保証金の回収による収入	1,389
差入保証金の差入による支出	△27,954
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	23,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,461,485
社債の償還による支出	△96,000
配当金の支払額	△21,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,179,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△260,250
現金及び現金同等物の期首残高	2,552,889
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	14,132
現金及び現金同等物の期末残高	2,306,770

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数	3社
連結子会社の名称	BRASS USA INC. 株式会社lyrics 株式会社アロウブライト

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

BRASS USA INC. 及び株式会社lyricsの決算日は、連結決算日と一致しております。

株式会社アロウブライトの決算日は6月30日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、決算日差異が3ヶ月以内であるため、同社決算日現在の財務諸表を使用しています。なお、株式会社アロウブライトにつきましては、第1四半期は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書も連結しております。

(連結貸借対照表関係)

※1 実行可能期間付タームローン契約

当社グループは、今般の新型コロナウイルス感染拡大とその長期化に対する備えとして、手許資金を厚く保持し財務基盤の安定性をより一層高めるため、取引金融機関と実行可能期間付タームローン契約を締結しております。なお、この契約に基づく借入未実行残高は以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2023年7月31日)
実行可能期間付タームローンの総額	800,000千円
借入実行残高	800,000
差引額	—

※2 財務制限条項

(1) 当社グループが締結した金銭消費貸借契約には財務制限条項が付されており、決算期末時点の「有利子負債倍率：有利子負債 / { 税引後利益 + 減価償却費 - (設備投資金額 - 新規出店に関わる投資額 (出店に準ずるリニューアル投資を含む)) }」が15倍を超えた場合、期限の利益を喪失する可能性があります。

なお、この契約に基づく借入残高は以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2023年7月31日)
1年内返済予定の長期借入金	75,000千円
長期借入金	100,000
計	175,000

(2) 当社グループが締結した実行可能期限付タームローン契約には財務制限条項が付されており、下記のいずれかに抵触した場合、期限の利益を喪失する可能性があります。

- ① 2021年7月決算期を初回とする各年度決算期の末日における借入人の単体の貸借対照表において、純資産の部の合計額を、2020年7月決算期の年度決算期の末日における純資産の部の合計額又は前年度決算期の末日における純資産の部の合計額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。
- ② 2021年7月決算期を初回とする各年度決算期の末日における借入人の単体の損益計算書において、経常損益の金額をゼロ円以上に維持すること。

なお、この契約に基づく借入残高は以下のとおりであります。

当連結会計年度 (2023年7月31日)	
1年内返済予定の長期借入金	800,000千円
長期借入金	-
計	800,000

(3) 当社グループが締結した金銭消費貸借契約には財務制限条項が付されており、下記のいずれかに抵触した場合、期限の利益を喪失する可能性があります。

- ① 2022年7月期以降の各年度の決算期に係る借入人の単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期又は2021年7月決算期に係る借入人の単体の貸借対照表における純資産の部の金額のいずれか大きい方の75%以上の金額に維持すること。
- ② 2022年7月期以降の各年度の決算期に係る借入人の単体の損益計算書における営業損益に関して、2期連続して損失を計上しないこと（なお、初回の判定は、2021年7月期及び2022年7月期の数値を用いて行われる）。

なお、この契約に基づく借入残高は以下のとおりであります。

当連結会計年度 (2023年7月31日)	
1年内返済予定の長期借入金	25,008千円
長期借入金	16,640
計	41,648

※3 当座貸越契約

当社グループにおいては、運転資金及び設備投資資金の効率的な調達を行うため、取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

当連結会計年度 (2023年7月31日)	
当座貸越極度額の総額	500,000千円
借入実行残高	-
差引額	500,000

(連結損益計算書関係)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類
東日本（1店舗） （株式会社プラス）	店舗設備	建物
愛知県名古屋市 （株式会社lyrics）	事業用資産	器具及び備品他
米国ハワイ州 （BRASS USA INC.）	事業用資産	車両運搬具

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、店舗を基本単位としてグルーピングをし、減損損失の認識を行っております。

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであり、また、継続してマイナスとなる見込みである店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（393,819千円）として特別損失に計上いたしました。

減損損失の内訳は、建物393,819千円であります。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを割引いて算定しております。

また、当社子会社グループの減損会計の適用にあたって、連結子会社は原則として各社を一つの単位としてグルーピングしております。当社の連結子会社である株式会社lyrics及びBRASS USA INC. は、営業活動から生じる損益が継続して赤字であり、今後の事業計画を勘案した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（13,615千円）として特別損失に計上いたしました。

減損損失の内訳は、工具、器具及び備品9,507千円、車両運搬具3,458千円、ソフトウェア648千円であります。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、対象資産は売却が見込めないため、正味売却価額はゼロとしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ウェディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり純資産額	667.66円
1株当たり当期純利益	132.87円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2023年7月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,628,510
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,628,510
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	5,434,661

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	722,125
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	722,125
期中平均株式数 (株)	5,434,661

(重要な後発事象)

該当事項はありません。